



長 崎 県
中 小 企 業 家 同 友 会

DOYU

ニューズ
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
 U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～長崎県を活性化するために、会勢700名を達成しよう～

青年経営者会 第30回 ハタあげ大会 開催報告

日時：3月20日(日) 10:00 会場：唐八景公園



青年経営者会3月例会として恒例の「春一番ハタ揚げ大会」を3月20日(春分の日)に唐八景にて開催しました。今年で30回を迎え、先輩達が繋いでこられた伝統行事を絶やすことなく、青年経営者会メンバーで協力して開催することができました。30回目ということもあり先輩方もたくさん来ていただきご協力いただきました。また、3園より感謝状もいただきました。

当日は晴れ男のせい、晴天に恵まれ心地よい春の風が吹き、絶好のハタ揚げ日和となりました。

今年はマリア園は園内感染があり不参加となりましたが、浦上養育院、明星園の子供たちを招待して行ないました。

ハタ揚げのハタは毎年小川ハタ店に協力していただ

き、事前に園の子供たちにハタを渡して皆思い思いのイラストを書いて揚げるということで、上手に揚げる子もいれば、なかなか上手く揚げられない子など、小川ハタ店のお仲間の方々からやさしく指導いただきました。参加した青年経営者会メンバーも子供たちと仲良く遊び、楽しく過ごせたと思います。長崎の伝統文化ハタ揚げですが、やってみると楽しい遊びだと思いました。伝統文化として受け継がれているのもうなずけます。

子供たちが楽しそうな笑い声をあげながらハタを揚げている光景や、青経メンバーが親子で仲良くハタを揚げている姿を見ると本当にやってよかったと実感いたしました。

毎回、皆楽しみの豚汁を作っていたいただける林さん、



目次

青年経営者会 第30回ハタあげ大会 開催報告	1	第13回 中同協 青年部連絡会 IN 大阪 参加報告	14
3月例会報告	2	中同協 第4回 幹事会 参加報告	15
女性部会・障がい者問題担当委員会 第4回例会 開催報告	7	事務局企業訪問	16
第3回 新入社員フォローアップ研修会 開催報告	8	会員活躍	17
2016年度 合同入社式 開催報告	9	入会・復会会員紹介	18
仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 開催報告	10	e.doyu マニュアル告知	19
春闘共闘会議との意見交換会 開催報告	11	5月例会・総会案内	20
佐世保支部 ベトナム・ホーチミン進出日系企業視察ツアー 2015 開催報告	12	理事会議事録 抜粋	21
留学生と企業の意見交換会 参加報告	13	会員消息・会員数	22

晴天の光を浴びながら外で食べた格別おいしい岩崎さんのお弁当、いつも感謝しております。

お昼からのクイズ大会と綱引き大会のレクリエーションも大賑わいでした。これも皆様の協力があっ



てこそできた事と思います。協力していただいた方々、心から感謝御礼申し上げます。

(文責 青年経営者会 笹田 健一)

長崎支部 浦上地区会・出島地区会 合同例会報告

日 時	3月24日(木) 18:30
会 場	メルカつきまち
テ ー マ	「経営理念」を作成しよう!!
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 (大村支部)



今回の例会に至る発端は、2年前の経営・労務担当委員会で、宇土さんが同友会の基本的な考えである「経営指針」が意外と作られていないと思われた事でした。経営指針とは、①経営理念、②経営方針、③経営計画から成り立ち、中でも①経営理念は経営者にとって、自己革新を迫りより良い企業に発展するために避けては通れない道です。しかし、難しい、言葉が出てこない、おかしな文章にしたくない、かっこよく決めたいなどの理由で作成されていない方がいます。今回はその経営理念を真に信頼できる同友会の仲間の力を借りて、形(たたき台)にすることが目的でした。

では、どうやって経営理念を作成すればよいか、次の5項目を考えていきます。①何のために経営しているか ②どのような会社になりたいか(わが社の固有の役割は) ③大切にしている価値観・人生観 ④顧客・取引先・仕入先に対する基本姿勢 ⑤地域社会や環境に対する基本姿勢。これらを「経営理念簡条書きシート」にそれぞれ記入していきます。次に「経営理念作成

シート」でキーワードを整理します。

さらに次の3要素を検討します。その3要素とは、A 科学性…社会の変化、経営環境の変化から今後の対応を考える。(今後の考えられる業態をまとめる) B 社会性…地域社会、顧客、取引先等の社会的責任を考える。(自社の追及する考え方、こだわり、果たすべき役割等) C 人間性…社員との関係、経営者としての責任を考える。(社会性を実行するために社員に求めるあるべき姿)この3要素からキーワードを整理します。そしてこれらを素に、最初の経営理念の記入ができます。

最後にこの出来上がった経営理念をグループ内で発表し合いました。経営に対する想いはあっても、それを具体的に文字にすると結構難しいものです。ですが、今日はシートに書いてあるヒントを参考に、考え方をまとめ、キーワードを抽出してそれを整理し最後は気づいたら心に響く経営理念が出来上がっていました。その経営理念の出来栄もさることながら、1人ではなかなか出来なかった事が、同友会メンバーのサポートを受けて簡単に出来たことが嬉しく思えました。

今回、改めて経営理念の必要性を感じると同時にその作成も決して難しいものではないことがわかり、まだ経営理念を作成していない人がいたら、同友会メンバーの支援を受けて作成することをお勧めしたくなりました。

(文責 浦上地区会 中尾 陽一郎)





点からの報告で、医療費の事などの説明もありました。協会けんぽの保険料の上昇の事や会社に対しての医療費をいかに軽減できるか？ 実際に医療費を軽減するために行っていることなど様々な提案もありました。

他にも、人間ドックとPET/CTの精度の違いと費用対効果についての説明を聞いて、なるほどと理解する点がたくさんありました。中でもPET/CTは癌しか発見出来ないと思っていたのですが、そうではなかったのにびっくりしました。たとえば心臓の冠動脈狭窄などもわかるそうです。また、早期での癌の発見が出来るので今流行りの重粒子線療法の精度を高めるのにも役に立っているそうです。これは早期の癌にしか効かないそうなので、PET/CTで定期的に検診していると熟練の経営者やスタッフを突然失うことが回避されるという事です。

ディスカッションテーマは「今日の学びは何でしたか？ 実践できますか？」でした。話の中で「自分の理解できる範囲で」という言葉が出てきたのですが、それを実践できるのではないかと思います。



自分の理解できる範囲で自分の得意分野の伸びしろを伸ばしていく。つまり、得意分野の事をさらなる高みを目指すという事。また、自己分析をしっかりやる事が大切であり、それをする事により、己を律することが出来、自分の理解の及ぶ範囲での経営をすることが出来、堅実な経営をしていく事が出来るのではないか？ という事で、その自己分析によって、自分の出来る範囲での経営を考えることが出来るのではないのでしょうか。

また、日ごろから検診していることで何事もないという事が何よりの健康企業ではないのでしょうか。会社にとって必要な人材を病気で失わなくていようにすることが肝要なのではないのでしょうか。

最後に、同友会では、たくさんの方々に話をする機会があり、このような会に入って、経営をよりシビアに、より楽しくみることが出来るようになったような気がします。この同友会の仲間に出会えてよかったなあと思います。

(文責 山口 大輔)

島原支部 例会報告

日 時	3月14日(月) 19:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	他社に無い個性を求めて ～お客様に必要とされる会社を目指して～
報 告 者	荒木電器 荒木 亮 会員

南島原市深江町で家電製品販売・工事を営んで40年、歴史ある荒木電器を親子で経営している荒木亮さん。地域経営者の先輩に誘われて東日本大震災ボランティアに参加した時、そこで「生きたお金の使い方」を学び地域経営者の諸先輩と交流を通す中で、経営者たちがなぜ地域活動をするのか疑問に思い、尋ねたら「同じものを見ても感じるはその人の感性とタイミング」また他の先輩からは「『天の蔵に貯蓄する』つもりで



取り組んでいる」と言葉をもらい、経営者とはそういう事に意識を持つものだと感銘したそうです。

荒木さんのいいところはまず行動、わからないことがあると実際にそのことをされている人のところに会

いに行きお聞きする、まさに行動力です。その行動力からいろいろなアイデアが浮かんでくるのではないのでしょうか。街の電器屋さんにもかかわらずフォトブック作成代行やエレベーター設置、新築パックプランなど。新築パックプランとは使用頻度が高いところは電気代がかからない最新の家電を、低いところは中古品をと予算に応じるパック工事です。面白いと思います。またその取組みの中に家電レンタル(かりんとう)があります。同友会メンバーからレンタルのヒントを得ました。人件費をかけずに売上を上げる最適な方法でした。ちょっと使ってみたいもの、1日2日だけ借りたいものなどすごく手軽に借りられるお客様目線のサービスを始めました。これも面白いと思います。

荒木電器の経営理念はお父さんの教えである“お客様と共に「ひと」と共に”です。この言葉の意味が沢山のご縁から助けてもらった事により改めて良い言葉だと再確認する事が出来たそうです。

グループディスカッションは、「御社の広告宣伝の手法はどんな形で伝えていますか？」というテーマで行い、ホームページ・SNSなどの利用、アナログ的



なチラシ配布、一番の効果は口コミ宣伝などの意見が出ました。感想としては社長の思いを受け継ぎながら時代の変化にあわせ新しいサービスを試みている姿勢はとても感心との意見が多かったです。

私はこの報告から経営者の素早い行動、判断が経営安定に繋がっていくのだと感じ、私も今以上に実践していこうと思いました。

(文責 末永 義邦)

佐世保支部 例会報告

日 時	3月18日(金) 18:30
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	経営計画発表例会 ～経営計画書策定セミナーに参加して～
報 告 者	東島税理士事務所 所長 東島 誉志 会員



佐世保支部では、長崎同友会第4次ビジョン「全会員が経営理念を持ち、会員の80%が経営指針(計画書)を作成している」という目標に向かって、佐世保365方式経営計画書策定セミナーを昨年より2回実施し、現時点では、毎年7社の経営計画書発表会が開催されています。

経営計画書は、主な枠組みとして経営理念・経営方



針(ビジョン)・中期・単年度経営計画からなり佐世保支部では、さらに経営理念・経営計画書・経営計画発表会を経営3種の神器と呼んで推進しています。経営計画書は大企業は当たり前として実践されていますが、中小企業では実践されている会社は少ないという現状です。しかし最近では銀行融資の際にも必要となってきており、社内で実践共有出来れば、同業他社を出し抜く大きなチャンスにもなる「This is 経営者の仕事」です。

そして、今期最後の3月例会で報告して下さったのは、佐世保365方式経営計画書策定セミナーに参加された東島さんです。東島さんにとっても佐世保支部にとっても初となる記念すべき例会での経営計画発表会です。東島さん、経営計画発表会誠におめでとうございます。

経営計画書作成は、経営者にとって3つのメリットがあります。①作成に費やす時間の量だけ自社と向き合える ②成文化することで、経営者の覚悟が生まれる ③経営者の会社・社員をプロデュースできるという夢のノートとなり、実現する求心力の源として本日、東島さんの経営者としての覚悟決意が発表されました。中長期目標・今期の目標が次回の発表会にて、どのように迎えられるのか楽しみになりました。また、今回の発表会にて東島さんのファンが増えたことと思います。会計業務についての相談は、南校前の大変解りやすい

東島税理士事務所までお願い申し上げます。

異業種の経営計画書・発表会に触れられる「最高の教材」がある同友会に入会できたことは幸運です。来期も9月10月には佐世保365方式経営計画書策定セミナーを開催いたしますので、佐世保支部365方式「魔法の0,1の法則」を体感し共に「This is 経営者の仕事」経営計画書を作成しビジョン達成・経営課題解決を目指しましょう。

(文責 豊福 和明)

北松浦支部 例会報告

日 時	3月12日(土) 19:00
会 場	ホテル蘭風
テ ー マ	経営指針はなぜ必要か?
報 告 者	(株)福祉工房 K's 代表取締役 豊福 和明 会員 (佐世保支部)



経営指針書づくり、そして作成した経営指針書の発表がなぜ必要なのかを、2月に経営計画発表会を開催されたばかりの佐世保支部の豊福さんに報告していただきました。

経営計画書は作成して成文化するだけでは意味がなく、経営計画発表会を開催して外部へ発信することで意味があることを感じました。経営計画書の作成と経営計画書の発表は、企業のリスク管理のひとつだと思



いました。

豊福さんが経営されている「幼老総合ケア施設えびす」では、経営計画発表会を開催することで、社員ひとりひとりが、経営計画書を実践書として身近に感じ、会社・組織としてのビジョンの達成と社員個々のビジョンの達成を一致させ、全社一丸となって誓い合う会議として位置付けられています。

経営発表会は自社の顧客づくりに、そして社員が自分の言葉で発表することでモチベーションを向上させ、さらには経営者自身の成長へと繋がる。こうした考えが長崎県内唯一の「幼老総合ケア施設えびす」の強さだと感じました。

わかりやすい豊福さんの報告に参加会員も強く共感し、懇親会も大いに盛り上がりました。

(文責 立木 良宗)

五島支部 例会報告

日 時	3月24日(木) 19:00
会 場	五島市総合福祉保健センター
テ ー マ	200年企業を目指すためには… ～見直しとチャレンジ～
報 告 者	(株)内島材木店 代表取締役 内島 範喜 会員 (島原支部)

明治6年の創業、内島さんは6代目です。「先代の

経営者のお話や、事業継承の報告をされるのかな」と思っていたのですが、23歳の時お父様を亡くされ、社員のことやご家族のことでとても苦労されながら、新たな挑戦を続けているという報告でした。

若くして会社を継がれた時、会社の危機にもかかわらず、社員は非協力的で内島さんが一人、早朝から夜遅くまで働いていても定時で帰っていた事で、また、10人程の従業員ながらも労働組合があり、ご苦労が絶えなかったようです。



ある時は社員の多くが辞め周囲から非難されることもありました。一念発起し自らの給料6割カットや、旧態依然の仕入れ方の見直し、古材の販売、他業種への事業展開を行いました。

県内で、中国製の発電パネルを使って太陽光売電をさきがけましたが、中国製のパネルへの不安が無いよう一枚、一枚をタブレット端末で管理するなど工夫し、安心のサービスを提供されています。

このような内島材木店ですが、「企業目的」「経営理念」「行動宣言」を明確にもたれ、社員にも日ごろからお話されているようです。



報告の中で、社員の方へ「一番大事なものはお客さんでは無く、内島材木店(会社)です。それは、社員も社長も同じこと」と伝え、社員が自ら考え、自主的に行動することを示されていました。

「2000年企業を目指すためには…」を実現するために、熱く、柔軟に、明確に～見直しとチャレンジ～実践されている内島さんを感じることができました。この度は、遠路五島まで、お出でいただきありがとうございました。

(文責 設楽 誠)

女性部会・障がい者問題担当委員会 第4回例会 開催報告

開催日：3月11日(金) 18:30 会場：サンプリエール

テーマ：小さな一歩を踏み出しました ～初めての障がい者雇用～

報告者：(株)ミヤタ 代表取締役専務 宮田 正一 会員(大村支部)

(一社)きらく福祉事業会 障がい者就労支援施設 きらく大村 サービス管理責任者 丸山 和美氏



(株)ミヤタにおける障がい者雇用に至った経緯と、それに大きくかかわってきた支援者の立場からの報告でした。

お二人からは、経営者の立場、支援者としての立場とそれぞれの視点からの話があり、会場にいた様々な職種の方にも非常にわかりやすい内容であったのでは



ないかと感じました。

丸山さんの話は、支援者の立場から、企業へのアプローチの際の緊張感もとても伝わりましたし、企業からの信頼を得るための事前準備等についてもとても参考になりました。

また、障がい者雇用に対しては肯定も否定もしない



状況であった宮田さんは、いわゆる無関心の状態であったのではないかと思います。丸山さんとの出会いで障がいのある方の事を知り、かかわりが深まっていく中で障がい者も健常者も変わりはないのではないかとこの気づきがあったかと思えます。良い会社を作るための一人材として、障がいのある方を見ていただいたことは、宮田さんの同友会での深い学びがあったからではないかと感じました。

宮田さんからは委員会等でお話を聞く事はありまし



たが、経営報告は初めて聞きました。障害者雇用の事がメインではありましたが、社員さんとの面談等、宮田さんの会社づくりの一端が見え、とても勉強になりました。

今後も細かい配慮は必要かと思いますが、障がい者雇用について、継続ができるよう、何か出来ることで、応援したいと思いました。

(文責 佐世保支部 原田 良太)

第3回 新入社員フォローアップ研修会 開催報告

開催日：3月26日(土) 13:00 会場：四季の蔵 食楽亭



最終回となる今回の研修は新入社員全員によるプレゼンテーションを行いました。形式は自由、時間は5分～7分で1年間の学びの発表です。パソコンを使う方、自社の商品を持ちメモを片手に発表する方、緊張しながらもそれぞれ個性を発揮し懸命にプレゼンに挑まれました。1年前まで会社の事を何一つ知らなかった皆さんが、自社の事や商品、自分自身の仕事内容、(時には失敗談も交えつつ)今後身に付けなければならない事は何か等を語ります。「お客様」「感謝」などの言葉が随所に出てきて、しっかりと自社製品やサービスを宣伝するところから成長がひしひしと感じられました。またフィードバックとして参加者全員で応援カー



ド(やる気の出るメッセージ)を記入してお渡ししたのも今回の研修の大きな特徴です。何かの折にこのシートが励みになればと思います。プレゼン終了後は17名の方へ県共育委員長の土井さんより修了証書が授与され、1年間の学びの内容が詰まった手作りのファイルも同時に手渡されました。

私は8月に入会したので、11月の研修からしか関わりを持ってなかったのですが、他の委員や事務局の皆さんは1年前の合同入社式からの新入社員の皆さんの成長をまるで自分の子供のように心底喜び感動されている事が、コメントする様子から伝わってきたのが今回とても印象的でした。(1年前とは全員見違える程



だったそうです。)共に育つという言葉通り関わる私達

側も沢山のものをいただいて成長させていただいているのだと改めて感じる事が出来ました。2016年度は私も合同入社式から関わる事が出来るのでとても楽しみです。1期生の皆さんとも3年、5年後と研修を行うので会いましょうとお約束しました。アンケートでも開催の要望がたくさん出ていたので、約束を果たせるよう、これからも私たち自身も成長し続けたいいけないと改めて気持ちの引き締まる思いを抱かせてくれた今回の研修でした。

(文責 長崎支部 浦上地区会 大城 あゆみ)

2016年度 合同入社式 開催報告

開催日：4月1日(金) 10:30 会場：長崎インターナショナルホテル



長崎同友会2回目となる合同入社式を、9社22名の澆刺とした新入社員と同伴の会員企業の関係者、オブザーブ会員を含め約50名で開催しました。

最初に松尾代表理事より同友会恒例の参加者全員による握手タイムから始まり、同友会の役割、そして合同入社式の目的は「中小企業の仲間意識を高めることにある」というお話から、「今我が社が237年続いているのは、社員さんが支えてくれたことにあります」と述べられ、「能力、可能性、やる気も無限大。早く一人前に成長してください」と新入社員に期待するはなむけの言葉をいただきました。新入社員のみなさんは、緊張した趣で真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。

その後、お一人お一人お名前を読み上げ、その場での起立と、参加者全員より拍手で歓迎され、場の雰囲気も和やかになったように思いました。

基調講演は、佐世保支部 村山さんより「社会人とは」というテーマで講演をいただきました。ご自身の人生体験、特に36歳で心臓の手術、ペースメーカーを装着したことにより人生が大きく変わったという話は印象に残ったことと思います。

社会人としての具体的な心構えとして、①基礎を身



に付ける ②強い心を持つ ③お金の話など大変参考になるお話であったと思います。その後、「パワーハラスメントと業務指導の違い」について、DVD視聴の時間があり、①あいさつは自分からする ②わからないことがあったら素直に聴く ③間違いや失敗は謝る ④何かあったらひと声かける ⑤注意されたら謙虚にうけるといった具体的な話が聴けて大変参考になったと思います。又、これからは、①知識 ②技術 ③資格 ④コミュニケーション能力 ⑤知恵。知恵を使わないと何もならない。といった内容は、これから大いに役立っていくことと思います。そして、人の話を聞いて、次にどうするか? ①感心して終わり ②感心してメモるメモでおわり ③メモしたことを実践するまずはノートをとる、書き留める。習慣化する。ことを意識してください。との話に、しっかりペンを動かしていました。最後に「明日」という字は「明るい日」と書きます。これから社会人として自分の未来のためにがんばってください。との言葉で締めくくられました。

第二部:「新入社員が身につけたいコミュニケーション」というテーマで、長崎支部浦上地区会 大城さんより研修が行われました。まず、冒頭「今日は、私の方



から何も教えません。みなさんが積極的に取り組んで学んでいってください」という説明があり、受け身でいた学生時代から大きな変化を感じたのではないかと思います。その後、通常の名前を伝える自己紹介ではなく、お互い向き合いハイタッチをやって、「〇〇会社の〇〇です」とお互い伝えあい握手をします。会場全員の方と行き、場の温度が上がったところで、「コミュニケーションという言葉を書いてイメージする言葉を3つ書いてみてください」と言われ、オブザープの方も含め全員が記入しました。その後、自分が書いた言葉3つ全てが一致している人を探します。約50名の方がいましたが、誰一人一緒の人はいませんでした。それだけ、言葉が持つ意味がそれぞれに違う、というのが体感できたワークでした。その後、グループに分かれグループ名を考えたり、リーダー役、発表役それぞれ積極的にワークに取り組んでいる姿が印象的でした。相手が言ったことに否定して対応した場合



と「いいですね」と言って肯定的に対応した場合の違いも体感しました。そして、最後に良いコミュニケーションを取る為に、明日から実践できることの発表があり、明日に向かう意気込みを感じることができました。そして、お一人おひとりの力強い社会人宣言があり、全員での記念撮影後、閉式となりました。

今後は、入社式が終わって終わりではなく、共育委員会として、7月、11月、翌年3月とフォローアップ研修を重ね新入社員の成長ぶりを見届けていく予定です。

これまで、準備を重ねて参りました各支部の共育委員会の皆様、事務局の方、そして松尾代表理事始め、村山さん、大城さん、ご参加いただきました会員の皆さん、誠にありがとうございました。これを機に会員企業のお役に立てる同友会活動を推進して参ります。

(文責 共育委員長 土井 幸喜)

仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 開催報告

今期最後のキャンペーン、「ワンデー」を開催(11月20日～3月15日まで)致しました。今期目標700名を目指し、まずは600名を超えるという意識の下、会員皆様のお力で24名増員を成し遂げていただきました。

委員会では思いの丈をぶつけ合う議論を毎回重ねてきました。会員数ばかり言うのはいけない、そして、会の中身の充実、退会防止という狭間・ジレンマの現在です。各支部・各地区会優秀賞・スポンサー賞も決まりました。本当にありがとうございました。

そして今回はツールとしてプロアナウンサーを起用しての同友会紙芝居の動画を制作いたしました。誘って下さっている会員の皆さんは、長崎県中小企業家同友会の事を誇りに思い、良い点・悪い点も良くわかってお話しされていらっしゃることも再認識させていただきました。

各支部・各地区会の想いも、あられることでしょう。

来期の仲間づくり委員会の意気込み・目指すところを汲んでいただき、今後ともご協力を、切にお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

(文責 仲間づくり委員長 杉本 誠二郎)

第9回 仲間づくり県下一斉 キャンペーン「1デー」結果発表!!

●支部・地区会賞

- 1位 長崎支部 出島地区会 (増率 7.5%)
- 2位 大村支部 (増率 5.8%)
- 3位 島原支部 (増率 5.6%)

●スポンサー賞

- 1位 島原支部 横田 健 会員 (2名)
- 2位 長崎支部 出島地区会 庄司 博昭 会員 (2名)
- 3位 長崎支部 出島地区会 中村こずえ 会員 (2名)

※入会申込書着順

春闘共闘会議との意見交換会 開催報告

開催日：3月22日(火) 会場：同友会事務局



「春闘共闘会議」と聞くと勇ましい労働組合運動を想像しがちですが、実際に会ってお話すると、知的な感じの皆さんでした。

今回の意見交換会は、全国労働組合総連合・国民春闘共闘委員会の名前で、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣宛に要望書提出のため、中小企業者の意見を聞きたいとの趣旨だったようです。

要望の内容は、労働者の立場で、「地域経済の主役である中小企業は、アベノミクスの恩恵を受けるところか、異次元の金融緩和による原材料費の高騰、変わらぬ低単価、売上低迷に悩み、消費税率の引き上げや、社会保険料の負担に苦しんでいる。日本の労働者の7割は、この中小企業で働いている。長期の不況とデフレで経営体力が落ちているところに、転化出来ない消費税の負担が追い打ちをかけ、事業の存続までもが危ぶまれる事態に直面している。地域経済の衰退をくい止め、経済好循環を実現するためには、中小企業支援が大切である。中小企業憲章に基づき、地域経済の主役である中小企業への支援拡充を要請する」との要旨です。

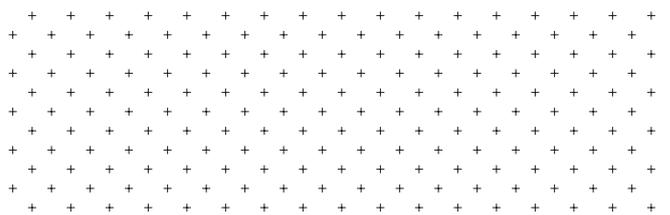
内容については、私たち中小企業家同友会の考え方にほぼ近く、賛同する部分がほとんどだったと感じました。

しかしながら、実現のための手法として、「最低賃金の引き上げ」や「公契約条例の制定」などは、そのまま受け入れるには無理があると思いました。「公契約条例」とは、発注者である自治体と受注者である企業の責任を明確にして、過当競争防止と適正価格を広めるものでしたが、よく内容が掴めないまま終わりました。

今回参加したメンバーは、県労連という連合体の中で、建設業関連の春闘共闘会議、自治体の職員でつくる自治労連、教職員組合、病院や介護関連の民医労などの皆さんでした。リードしているのは、教職員組合と自治労との印象です。

長崎同友会からは、松尾代表理事、石橋財務委員長、政策委員会から柿川会員と宮田、そして峰事務局次長が参加しました。

(文責 政策委員長 宮田 正一)



新商品
長崎さるくマット
ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

解体工事
の事なら、ご相談ください!!
<http://www.hirotani-kk.co.jp>
有限会社 廣谷環境開発
〒854-0125 長崎県諫早市早見町1275-28
☎ 0957-28-0555

廣谷 慎也 会員 (諫早支部)

佐世保支部 ベトナム・ホーチミン進出日系企業視察ツアー 2015 開催報告



昨年度の中国に引き続き、佐世保支部ダイバーシティ経営委員会では、海外進出日系企業の視察ツアーを企画。今年度は、経済成長著しいベトナム最大の商業都市、ホーチミンを視察先とし、2016年2月21日より3泊4日で実施しました。

ベトナムは人口9千万人で国民平均年齢は驚異の28歳。人口の大半を若年層が占めながら、2020年には人口1億人に達する見込みです。一方、少子高齢化社会の日本は、人口1億2千700万人で国民平均年齢は45歳と非常に対照的。そのため、親日国家であり、過去10年間の平均経済成長率が約7%を維持するベトナムは、現在、日系企業が非常に注目する投資国となっています。

今回のツアー参加者は、支部長である中島禎雄会



員、村山隆之会員、豊福和明会員、古賀和之会員、そして橋口の5名。4日間の現地コーディネーターとして、佐世保市出身で現在はホーチミンでジャーナリストとして活躍されている迫田陽子さんをお願いしました(迫田さんは西日本新聞日曜版でベトナム生活に関する記事を連載されています)。

初日と最終日は終日移動日となり、中2日を視察日としました。2日間で視察した日系企業は3社。現地入りして分かったことですが、偶然にも3社全て長崎県と何かしらのご縁があり、一般的な企業視察以上に親しみのある交流が生まれました。

「プラッツベトナム」プラッツベトナムは、福岡県大野城市に本社を置く一部上場企業、株式会社プラッツのベトナム現地法人で、主な事業は介護用ベッドの製造です。工場に入ると整列した当日出勤の全従業員が元気な挨拶で私たち一行を迎えてくれました。また、工場内は日本式の5Sとカイゼンが徹底され、ベトナム人従業員の皆さんがキビキビと働く光景に会員一同大いに感銘を受けました。この工場の日本人は現地法人社長と波佐見町ご出身の工場長の2人のみ。日本人2人で全従業員150人を高いレベルまで共育されていました。

「キョーワベトナム」キョーワベトナムは、佐世保市に本社を置く協和機工株式会社のベトナム現地法人で

結婚披露宴・祝賀会・同窓会・ご法要
歓送迎会・講演会など御利用下さいませ

政府登録(688)

諫早観光ホテル

道具屋



〒854-0004

長崎県諫早市金谷町8-7

TEL 0957-22-3360 FAX 0957-22-3363

藤原 貞明 会員 (諫早支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

す。母体の協和機工は、かねてからベトナム人研修生制度を採用。佐世保の本社工場で産業機械製造の技術・知識を習得させ、帰国した研修生たちは、現在、キョーワベトナムの主軸となって活躍しています。工場は現地法人社長と現在ベトナム駐在中で本社後継者の方お2人(どちらも佐世保市ご出身)にアテンドしてもらい見学しました。地元企業の海外事業展開は、市民として誇りに思う一方で、同じ土地の企業経営者としても海外に活路を見出す挑戦的経営に新鮮な刺激を受けました。

「ヴィエットボクトウ」ヴィエットボクトウは、東京都葛飾区に本社を置く墨東建材工業株式会社のベトナム現地法人です。創業者である田坂会長は、新上五島町奈摩郷ご出身で、上京4年目に現在の墨東建材工業を設立。ヴィエットボクトウの工場長も福江市ご出身でした。主な事業は空港や商業施設、大学などの大型建築物の天井や壁のアルミパネルの製造で、ベトナム工場も日本向けのアルミパネルを製作しています。製品は全てオーダーメイドで製品の規格が違うため、工場内では図面を見ては作業を繰り返す熱心な仕事ぶりを見学できました。

3社に共通していたことは、ベトナム人従業員50名から150名までを、各社1名から2名の日本人駐在員だけで共育・指導・管理をされているところでした。アウェイの環境で、高品質な経営を実践されている日本人の皆さんの和衷協同の精神、そしてご尽力に大きな学びを得ることができました。

また、今回の3工場はホーチミン郊外にあるそれぞ



れ違う工業団地にありました。ベトナム政府は、工業・輸出・ハイテク製品の製造業、またはそれに付随するサービス業を行う投資家を誘致する目的で、工業団地、輸出加工区、経済特区の制度を設けています。各工業団地ともに車で片道1時間から1時間半かかりましたが、のどかな田舎風景の中から突然、近代的で桁違いのスケールの工業団地が現れたのは大変印象的で、ベトナム経済が将来「分厚くなる」予感がダイレクトに伝わってきました。

百聞は一見に如かず。ツアーを通じた各会員の学びと気づきは、今後の自社経営において、必ず大きな糧となり、佐世保経済への一翼にも繋がることでしょう。佐世保支部ダイバーシティ経営委員会では、今後も積極的に中小企業のダイバーシティ経営、そしてグローバル化を推進していきます。

(文責 佐世保支部 ダイバーシティ経営委員長 橋口 久)

留学生と企業の意見交換会 参加報告

開催日：2月26日(金) 会場：出島交流会館

年間2,200～2,300人の留学生のうち、270名が卒業。そのうち30名程度が長崎へ就職、60名が長崎以外の国内就職をされている現状があるそうです。今回はそのような留学生と企業との意見交換会でした。

冒頭、留学生支援センターの方が、なぜ日本に留学してきたのかをあらためて学生に問いかけ、日本で就職をしたいと希望するなら考え方や姿勢、日本での生活設計をしっかりと考えてほしいと話されました。現在の日本は中小企業が99%を占めているため、中小企業が社会を支えているといった内容もあり、留学生たちにとって中小企業と言う就職先の検討も促していました。

その後学生によるフィールドワーク実習の報告が3

例あり、それぞれ佐世保や長崎の観光スポットから外国人向けのサービスをさらに充実したものにするにはどうしたらいいのか学生の目線で発表されました。

最後に留学生と日本の学生、企業や行政が混じったグループディスカッションがあり、それぞれの立場からの意見交換を行いました。

私が感じたことは、今回お会いした留学生の皆さんは志も高く、日本で仕事に就き成功したいという想いを持った方が多かったという事です。長崎同友会の景況調査でも各会員企業の経営課題として「人材不足」「人材共育」が上位にあげられており、全体としても人材獲得でお困りの会員の皆さんも少なくありません。

今期女性部会・障がい者問題担当委員会が立ち上がり、女性の更なる社会進出、障がいを持たれている方

の雇用などダイバーシティ経営の重要性が確認されてきました。今後、さらなる人口減に伴い、企業経営の一つの選択肢として留学生という判断も必要になるかもしれません。

事務局としても、今後このような機会に参加させて

いただき、会員の皆さんに有意義な情報をお伝えできるよう準備を進めたいと思います。

(文責 事務局次長 峰 圭太)

第13回 中同協 青年部連絡会 IN 大阪 参加報告

開催日：2月26日(金) 12:00 会場：堂島ホテル



まず議題1として去年行われた山梨青全交の報告がおこなわれ、実行委員の方や参加者の方々から成果と教訓が発表されました。その後、今年行われる石川青全交について実行委員長より企画概要やテーマ「われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう！」とスローガン(案)「つどえ傾奇者！歴史は一步一步に新たなる創造である。」記念講演の候補者などが発表されました。各分科会報告者の県推薦者提案では多くの県で推薦者があげられ、他の全国大会とは違い、青全交を自分たちで運営しているからこそその意気込みの強さを感じました。

議題2では、正副代表者会議からの報告として今後の連絡会運営体制について、今までの共同代表制から現役の代表を選任し候補者として広島同友会の早間さんをお願いし、前任の中同協広浜幹事長には顧問として残っていただき、その他現共同代表については相談役とする、副代表を若干名・各ブロックの正副代表者を運営委員とする。任期については現在の青全交から翌年の青全交までから4月から翌年3月までの任期とする。対象年齢については49歳から徐々に下げ最終的には45歳までとするよう調整して行く。以上の報告がありました。



議題3のグループ長研修では兵庫同友会の関戸さんの説明の後、実際に模擬グループ討論をおこない、まとめ&発表の後に各テーブルでフィードバックシートを使って、グループ長と副グループ長(発表者)の良かったところと改善点を出し合い学びました。今まで

貴方なら行ける、誰よりも遠くへ。免許を取ったらボートに乗ろう!!



【国家試験免除】2級小型船舶操縦士免許教室のご案内

H28年	長崎教室		佐世保教室	
	学科	実技	学科	実技
5月	7(土)・8(日)	10(火)・11(水)	14(土)・15(日)	16(月)・17(火)
	19(木)・20(金)	28(土)・29(日)	26(木)・27(金)	28(土)・29(日)
6月	4(土)・5(日)	7(火)・8(水)	11(土)・12(日)	13(月)・14(火)
	16(木)・17(金)	25(土)・26(日)	23(木)・24(金)	25(土)・26(日)

学科講習2日間、実技講習4時間の講習で取得できます。

時津町久留里(株)ヤマハマリン西九州

090-7355-8201

長崎浦上支部 吉澤 健

しっかりと学んでいなかったグループ討論について今回は①何の為にグループ討論をおこなうのか ②G長・副G長の役割とは ③本質的な討論をする為のポイント ④良い事例と悪い事例・やってはいけない事 ⑤G K B Rシートの使い方など、多くの事を学ぶことが出来ました。

青年部連絡会終了後、大阪同友会青年部の35周年記念式典にも参加させていただき、広浜幹事長と大阪青年部大天幹事長の対談報告やグループ討論「何のために会社をやっていますか?」というテーマで討論を

おこない、私のグループでは、後継者としての責任や社員さんとその家族を守る為、お客様や地域に必要とされているからなどの意見が出され、会社を継続させるためには同友会での学びを自社で実践し強い会社づくりをしていくことが大切であるというまとめとなりました。その後の懇親会も楽しい余興などもあり、大いに盛り上がりました。

(文責 青年経営者会 会長 山口 善也)

中同協 第4回 幹事会 参加報告

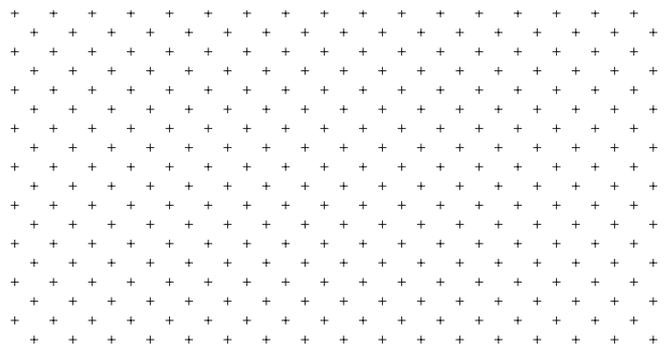
開催日：3月9日(水) 13:00 会場：アルカディア市ヶ谷

素晴らしい沢山の仲間達に逢える中同協幹事会で多くの元気を貰いました。奇しくも2週間前の浦上地区会例会にご出席いただき懇談した千葉同友会の山本代表理事と同じテーブルでした。そんな中に今回少し寂しいと思ったことは珍しく佐賀同友会と宮崎同友会から誰も参加がなかった事でした。長崎からは私一人でしたので、余計にそう思ったのかも知れません。

さて、今回のメインテーマは、分担金の改訂についてでした。さすがの鋤柄会長も開会挨拶では緊張気味に皆さんにご理解を求めておられました。その甲斐あってか《第1部》財務委員会より提案された内容で各県検討して来たため、すんなりと承認されました。《第2部》報告事項・審議事項が報告されました。《第3部》定時総会議案についての討議と題して、広浜幹事長から今年度2016年の重点課題と方針について問題定義がなされました。そこで改めて幹事が総会議案書の重要性を説かれ、「これは各地同友会の活動の参考として活用されるべきであり、会員の一人一人にも企業の発展に活かされるものである」と話されました。更に「中同協の構成メンバーは各地同友会であるため総会議案書について論議し、代表理事はA・Bグループに分かれ意見を出して下さい」と要請されました。よって、長崎同友会でも実践して参ります。その後、「これまで培ってきた同友会理念を若い世代にどの様に伝えていくか」というテーマでグループディスカッションを行いました。埼玉・千葉・愛知・広島・沖縄・大阪・神奈川と各地の話聞き、そのほとんどが大所帯なので驚きが2点ありました。一つは役員研修会の在り方について、私たちは年1回ですがテーマを決めて複数回開催している県が多いようです。役員研修会に重きを置いています。二つ目は各県青年部の活発な活動です。千葉県は私たちがバイブルの様に学ぶ労使

見解を時代の変化の中に改正しようと言う意見が出たり同友会活動の実践と会社の業績の検証を行うとか驚くばかりです。愛知は若手・中堅・熟練が各1300名で7~8年前から若手が仕掛けて小グループ活動を推進して活性化している嬉しい悲鳴と言われて、逆に大阪は青年部が100名ほどで将来に不安を感じています。広島は青年部を巣立った先輩が体現者となり現執行部を引っ張っていて、現筆頭代表理事は青年部の卒業生だそうです。これからの同友会を考えると若手経営者を育てて行かなければならない長崎も参考にしなければならぬと痛感しました。

(文責 代表理事 松尾 慶一)



投稿募集のご案内

- DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。
- 文字数/約 500 字
 - 画像/歓迎します
 - 掲載/情報広報委員会にて選考
 - 投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで
 - メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



事務局企業訪問

今回は諫早支部 馬場一信さんにお話を伺いました。



馬場さんは佐賀の生まれ。高校卒業後に名古屋で一旦就職、3年後に佐賀に戻ってきました。その時に勤めたのがクレーン製造会社で、設計業務に従事し長崎市市内での勤務、移り住むことになりました。その後オイルショックによりクレーンの設計業務の仕事が減ってきたため、石材を扱う部署へと移動することになります。これが石材業へ携わるきっかけとなりました。その異動の2年後に退職、当時の顧客だった石材店のオーナーさんから支援を受け、(有)西九州研材産業を1979年12月に長崎市にて起業します。その後、事業の拡大や長崎大水害で被害を受けたこともあり、交通の便が良い諫早へ本社を移転しました。

<事業内容>

(株)西九州研材産業では石材を加工するための機械や工具の販売、お墓の設計と石材の輸入、墓石に戒名を掘る際の下準備などを行っています。

墓石に戒名を彫る際には、一旦ゴムシートに戒名を印刷し(この作業を西九州研材産業で行います)、文字部分をくり抜いたものを墓石に貼り付け、空気を圧縮したものでカーボンに吹き付けて彫っていきます。実際に見せていただいたカーボンは、少し粒の大きめの砂がキラキラと光沢を帯びているものでした。これを固めたものが砥石になるとのことで、意外にも身近なものに使われていることに驚きました。

また、時代の流れとともに石材の加工が人件費の安い中国で行われるようになり、日本での石材加工の機械や工具の売り上げも落ちていきました。そこで前職のクレーンの設計業務で図面を引いた経験もあったことから、お墓の設計とそれに必要な石の加工を指示、中国に注文・輸入を行う業務も始めました。

今では石材を輸入し、日本では組み立てのみということが増えてきており、(株)西九州研材産業においても加工された石材の輸入業務が多くを占めるようにな

りました。

<同友会との出会い>

独立したばかりの時に長崎浦上支部 松尾照美さん(松尾石材店(株))の紹介で入会をしたのが同友会との出会いでした。しかし長崎から諫早に本社を移転することになり、当時は諫早支部がなかったため、一旦退会することになりました。1994年に諫早支部が設立することとなり、チャーターメンバーとして同友会に復会をしました。

<経営指針書の策定>

1998年当時はまだ好景気ではあったものの、石材店が自社で加工することが少なくなり外国から完成品を輸入することも増えていました。このままでは良くない、何かを変えなければならないと感じた馬場さんは、1998年福岡同友会の経営指針書策定の志賀島セミナーに参加をします。このセミナーに参加し社員に社長と同じ考えで働いてもらうには経営指針を確立し、成文化することが必要であると確信します。

しかし意気揚々と経営計画書を作成し、いざ実践となったときに社内からの思わぬ反発に直面します。当時はまだ好景気ということもあり、今のままでよいという社員の考えと、少しずつ業績が悪くなっていくことを感じ経営計画書を作り自社を変えなければいけないと思う馬場さんとの間に軋轢が生まれました。

当時を振り返り、馬場さんは自分だけが燃えてしまい経営計画書がなぜ必要なのかということをしかりと社員に伝えることができなかつたこと、実践することを押し付ける事でやらされ感が出てしまい反発につながったことを語られ、社長のビジョンをしかりと共有し伝えることの大切さとその難しさを改めて知ることができました。

この時に策定された経営計画書を今でも鞆の中に入れ、持ち歩いている馬場さんをお願いをして中身を拝見させていただき、18年という時を経てもなお、その当時に経営計画書を作成された時の馬場さんの熱い思いに触れる事ができました。

今回は長時間にわたるインタビューに快く応じていただき、ありがとうございました。馬場さんは来期諫



早支部長に就任予定です。同友会活動・本業ともにさらなる活躍を祈念いたします。

<(株)西九州研材産業 経営理念>

「誠実・実行・喜び」

- 1.我々は、誠意を尽くして、お客様の要望に応える信頼と感謝を得る事の出来る企業になる。
- 2.我々は豊富な知識、技術を以て、お客様の満足向上に貢献できる企業になる。

3.我々は共存と共栄の精神で社員の幸福、企業の発展を求め続ける企業になる。

〒854-0036 諫早市長野町1448-1

電話：0957-24-1185

FAX：0957-24-1626

(文責 事務局 田口 友廣)

会員活躍

長崎新聞 3月17日

県中小企業家同友会の女性部会・障がい者問題担当委員会(中村(すえ)委員長)の会合が11日、長崎市内であり、漬物製造販売「ミヤタ」(大村市)の宮田正一代表取締役専務と障がい者就労支援施設「きらく大村」(同市)の丸山和美支援員が講演。障害者雇用では「障害を理解した上で特別扱いしないことが大事」との共通認識を示した。

人手不足に陥っていたミヤタは昨夏、丸山さんからてんかんの持病がある女性を紹介され、3時間研修という形で初めて障害者の受け入れを開始。女性は現在、健康者と同様に契約社員として雇用されている。宮田専務は講演で、障害者雇用について「人材不足に悩む中小企業にとっても、障害のある人にもプラス」と強調。丸山さんは「雇用主と障害者はギブ・アンド・テイクの関係。特別扱いせず一人人として扱ってほしい」と呼び掛けた。

(小山健太)

障害者を雇用する上で「特別扱いしないことが大事」と話す宮田専務(右)と丸山支援員
 長崎市元船町、平安閣サンフレール



障害者雇用の先輩 指南

「特別扱い」必要ない

長崎新聞 3月21日

ハタもっと高く揚がれ♪ 長崎・子どもら80人楽しむ

長崎市の唐八景公園で20日、県中小企業家同友会青年経営者会(山口善也会長、25人)主催の「春一番!ハタあげ大会」があり、招かれた児童養護施設の子どもたちや会員家族ら約80人が参加した。

同会が伝統文化を体験しながら親睦を深めようと毎年開き、30回目。同市風頭町の小川風店と愛好者で作



る長崎ハタの会も協力し、風をとらえて上手にハタを揚げる技を伝授した。

「最初に飛ばすのが難しい」と話した小学1年の女兒(7)は自分で描いた一銭バタがきれいに揚がって笑顔。息を切らしながら駆け回っていた小学2年の男児(8)は「とっても良い気分」と悠々と空を舞うハタを見上げていた。(松岡佑佳)

約80人が参加したハタあげ大会=長崎市、唐八景公園

空を舞う春

新入会員の皆さんです< 3月入会・復会 >

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	い よんぶん 李 泳勲		
企 業 名	リーガルナビ行政書士事務所		
役 職 名	代表行政書士		
企 業 住 所	〒850-0862 長崎市出島町2-11 出島交流会館8F		
T E L	095-865-6850	F A X	095-865-6851
業 種	法務サービス・行政書士業		
企 業 P R	行政書士は「まちの法律家」として、地域の企業や住民を多方面から支援いたします。当事務所では、外国人従業員採用支援、法人の設立、起業家の支援を主要業務として取り扱っております。いつでもお気軽にご相談ください!		
スポンサー	北川 亮・峰 圭太		



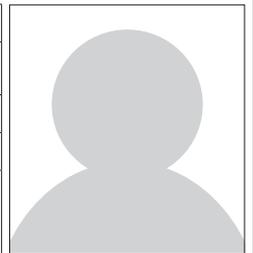
支 部 名	大村支部		
氏 名	のじま としふみ 野島 敏史		
企 業 名	RON's office		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒856-0035 大村市武部町247-10		
T E L	0957-52-6444	F A X	0957-52-6444
業 種	飲食店・音響機器・PA		
企 業 P R	「お客様の心のパーキングでありたい。元気で楽しい時間をプレゼント」をモットーにしています。 ●事業内容 飲食店、音響機器、リース、PAエンジニア派遣、ミュージシャン派遣など		
スポンサー	細名 久		



支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	のほら つとむ 野原 努		
企 業 名	(株)ビー・クリエート		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒852-8145 長崎市昭和1丁目7-20		
T E L	095-843-2929	F A X	095-842-3485
業 種	設計建設業		
企 業 P R	・各構造建物の設計、建築、改修 ・賃貸住宅管理業		
スポンサー	石橋 文		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	きたじま こうへい 北島 康平		
企 業 名	多良見住宅		
役 職 名			
企 業 住 所	〒859-0401 諫早市多良見町化屋1812		
T E L	0957-43-0210	F A X	0957-43-6523
業 種	不動産業		
企 業 P R	地元を支えられ30年。多良見の住民と共に発展を目指します。		
スポンサー	北島 美智子		



支 部 名	大村支部		
氏 名	ながの かずひろ 永野 和博		
企 業 名	永野工務店		
役 職 名			
企 業 住 所	〒856-0842 大村市中里町34-2		
T E L	0957-52-3682	F A X	0957-53-8638
業 種	総合建築業		
企 業 P R	地域に根ざした工務店として大村市で60年以上にわたり、主に木造住宅の施工を行っています。 お客様とつくる楽しさを共有し「居心地の良い住まい」をご提供いたします。 また、設計事務所に勤めていた経験を活かし、建築に関するご相談にお答え致します。お気軽にお尋ねください。		
スポンサー	梶崎 和人		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	まわたり たかひろ 馬渡 孝浩		
企 業 名	(株)馬渡農園		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-1104 雲仙市吾妻町古城名931		
T E L	090-7446-2226	F A X	0957-38-3462
業 種	農業		
企 業 P R	農業や化学肥料に頼らないために自家製の炭堆肥を施し生育促進や除菌効果により人にも環境にも優しい農業を目指します。		
スポンサー	山口 大輔		



+++++

+++++

支 部 名	島原支部		
氏 名	ひらの だいすけ 平野 大介		
企 業 名	平野彩Factory		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒859-1411 島原市有明町大三東甲585		
T E L	0957-68-2914	F A X	0957-68-2914
業 種	農業		
企 業 P R	企業理念は誠心誠意です。		
スポンサー	荒木 博		

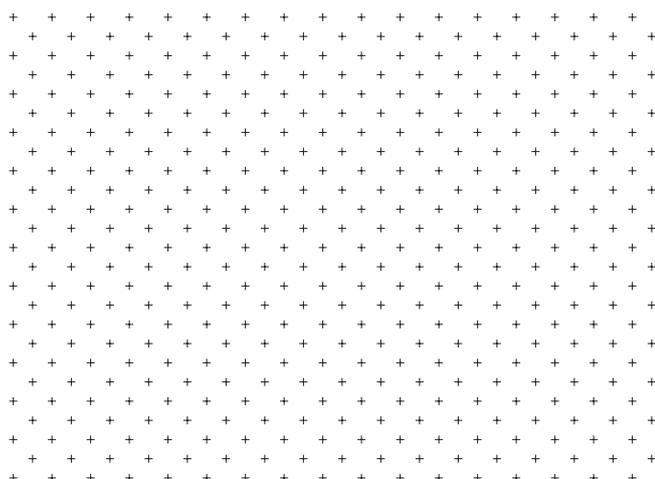


<復 会>

支 部 名	長崎支部 出島地区会		
氏 名	とみなが りゅういち 富永 隆一		
企 業 名	特別非営利活動法人 障害者就労支援センター		
役 職 名	施設長		
企 業 住 所	〒850-0042 長崎市御船蔵町1-9		
T E L	095-824-5888	F A X	095-824-6481
業 種	障害者福祉施設		
企 業 P R	身体、知的、精神、発達障害者の方(約80名)にパソコン、製菓製パン、農業等の職業訓練と生産活動の場を提供しています。		
スポンサー	松田 学		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	ほんだ かつお 本多 勝雄		
企 業 名	(有)本多工務店		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙423-7		
T E L	0957-73-3791	F A X	0957-73-2390
業 種	建設業		
スポンサー	横田 耕詞		



第45回定時総会 議案書(2016年度 活動のしおり)に 簡易版 e.doyu マニュアル掲載

4月中旬に送付いたしました第45回定時総会 議案書(2016年度 活動のしおり)に簡易版e.doyu マニュアルが記載されております。

e.doyuのログイン方法・行事出欠依頼への回答・掲示板の見方が掲載されておりますのでぜひご活用ください。

■ e.doyu (<https://nagasaki.e-doyu.jp/>)とは…

同友会では、活動を円滑に進めるためにグループウェア「e.doyu」を活用しています。e.doyuを活用することによって例会等への出欠連絡が簡単にでき、他の人の参加状況もつぶさに確認できるようになります。また、個々のスケジュール管理ができ、例会などへの段取りがスムーズに運べます。

※e.doyuに入る(ログインする)ためには、IDとパスワードが必要になります。

ID・パスワードがご不明な場合は事務局までお尋ね下さい。

5月例会・総会案内

●長崎浦上支部

日 時 5月18日(水) 18:30
会 場 ギャラリーヘキサ
テ - マ 共に学び共に育ちあう社風づくり
~ニコッとな社員とのつながり出ていますか?~
報 告 者 ニコットサービス(有) 代表取締役
江口 陽一 会員(佐世保支部)

人は育てるものではなく、育つものと言われてます。一方的な教育では、自立した人間は育ちません。江口陽一会員の人との関わりに対する姿勢から、経営者と社員さんが、共に育ちあう社風づくりについて学びあいます。

●長崎出島支部

日 時 5月16日(月) 18:00
会 場 サンプリエール
テ - マ 起業して15年
~人との出会いで学んだこと~
報 告 者 暁建設 代表者
本多 邦暁 会員

祖父の影響を受け、平成13年に27歳の若さで当時務めていた会社を引き継ぐ形で起業。経営の“いろは”もよく知らない状態での起業だった為、起業後に様々な苦難に直面し、その苦難を乗り越えて15年。昨年同友会に入会し、起業してからの15年を振り返り、また会社の将来を考え、初めての経営体験報告をさせていただきます。

●大村支部

日 時 5月19日(木) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 経営体験報告
報 告 者 (株)中村消防化学 代表取締役
中村 康祐 会員

●諫早支部

日 時 5月18日(水) 18:30
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
内 容 未定

●島原支部

日 時 5月19日(木) 19:00
会 場 HOTELシーサイド島原
テ - マ 経営指針書と経営理念の重要性を知ろう
~理念は経営者の熱い思いそのものだ!~
経営・労働委員会およびBグループ担当
報 告 者 (有)壽物産 代表取締役
永吉 誠 会員
アース建築デザイン長崎一級建築士事務所 代表者
横田 健 会員

その社長さん、経営指針書は作られていますか? え? 作ってない? マジっすかΣ(□□) 経営理念やビジョンは? はあ? 貴方の経営は行き当たりばったりっすか! Σ(□□) そんなんじゃ社員さんだけでなく、奥さんも安心してついて来れませんよ~? (▽▽) 経営理念は社長の心の鏡、経営指針書は社員と共に歩む道を示した地図とコンパスっす! 理念をピシッと作っておけば、社員が迷った時も、理念が社員の背中を押してくれますよ。
そうそう! 19日に同友会の島原支部で指針と理念の勉強会があるらしいから聞いてきなよ! きっと重要性が理解できるし、オライも作らなきゃ! って思える話があるんだって! 話を聞くだけならタダやっけん、時間作って是非行ってこんね! 損はせんけんサ♪

●佐世保支部

日 時 5月20日(金) 18:30
会 場 佐世保市民会館
テ - マ 未定
報 告 者 村上彫刻 副代表
村上 敦子 会員

同友会活動に積極に取り組みされる村上さん。経営指針づくり。そして、経営計画表と積極的な性格を生かした内容でした。佐世保支部は女性の活性化に目を見張るものはあります。そんな村上彫刻と村上さんを個性と経営の報告会となっております。

●北松浦支部

日 時 5月20日(金) 18:30
会 場 サンパーク吉井(予定)
テ - マ 「今までの経営と、これからのビジョン」
~何のために仕事をするのか~
報 告 者 (有)ワイエヌコンサル 代表取締役
横田 耕詞 会員(島原支部)

幼稚園を経営する旧深江町長の長男として生まれ、父の生き様からいろいろな学びを得、土地家屋調査士として事務所を開く。堅実な経営から相談業務が増えて、スタッフの充実した雇用環境を図るため法人を設立。会社を経営をしていく中で思う。何のために仕事をし、何のために生きているのか? ~すべては次世代を担う子供たちのために~ と人生の理念を掲げ、様々な事業プランを実行し続ける横田さんの『経営における選択と集中』、我々に出来る地域貢献は何か地域活性化への今後のビジョンとは何か、遂にペールを脱ぐ横田流『生き方のススメ』とは。今回は経営者の姿勢として違った観点から切り込みます。一同とくとご覧あれ!!

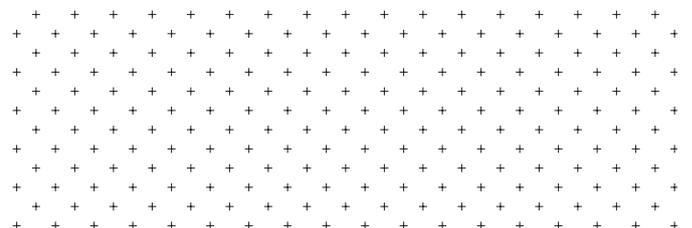
●五島支部

日 時 5月18日(水) 18:30
会 場 福祉センター 研修室
テ - マ 未定
報 告 者 (有)もり塗装工業 取締役会長
森 勝昭 会員

森相談役の報告です。

●青年経営者会

日 時 5月14日(土) 19:00
会 場 サンプリエール
内 容 総会



4月理事会 議事録 抜粋

4月7日(木) 諫早観光ホテル 道具屋

開会挨拶－松尾代表理事

今回の理事会のメインは今年度の決算と来年度の予算についての協議になります。また来年度がスムーズに進むように、新旧理事の方に集まっていただきました。不況ではありますが、波佐見陶磁器工業協同組合では様々なイベントに出展して近年脚光を浴びるようになりましたが、それまでに10年近くかかりました。長崎同友会もおかげさまで会勢が伸びてきていますが、600名を前に足踏みをしています。しかしこの足踏みが大事で、しっかりと知恵を出し合い、皆さんにご協力いただき仲間づくりをしていきましょう。本日は宜しくお願いします

仲間づくりについて

1)入会・退会・取り下げ・企業変更の承認について

1名の入会、8名の退会、1名の取り下げ、3名の企業変更を承認

協議・承認事項

1)2016年度に向けて

- ・最終決算書(案)、2016年度予算(案)について
→石橋財務委員長より詳細を報告と一部修正について説明あり(監査報告含む)

(総じて)

予算案支出の部の2015年度通信費・2016年度次期繰り越し金・2016年度合計を修正し、決算案・予算案を総会に上程することを承認

・定時総会について

(前回理事会までの決定事項)

- 4月15日(金)ホテルニュー長崎 13:20～
- 記念講演者
中同協経営労働委員長、福岡同友会代表理事 中山 英敬 氏
- テーマ
「人を生かす経営」の実践で中小企業の未来を切り拓こう(70分)
内容に関しては、社員共育、労使見解、経営指針の実践報告を中同協の経営労働委員長および福岡同友会代表理事という立場から熱く報告いただく
- 総会内、退任の役員の方からは一言いただき、新任役員の方は司会のナレーションで紹介する。
- 会費は4,000円とする
(今回提案事項)
- 動員目標について(各支部より申告制。県南(五島含む)を辻村副代表、県央を金井副代表、県北を松尾代表理事が動員担当とする)

【登録状況】4月5日現在

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
会勢	112	89	68	73	56	122	44	25	589
目標	35	30	20	15	15	20	10	10	155
登録	16	18	16	13	11	16	4	4	98

- 第3部懇親交流会内において増強キャンペーンの表彰を行う
→上記を承認
- 第1、2部司会、議長、議事録署名人、スローガン唱和、第3部司会、万歳三唱に関して参加会員の状況を見ながら三役一任とする
→上記を承認
- 二次会に関して、仲間づくり委員会が決起大会を開催予定のため合同して開催する案(子悪魔：山口会員)
会費2,000円
→上記を承認

・活動の手引き修正案について

- 変更内容について承認。名簿の配布予定がゴールデンウィーク明けになることを確認

2)第23回経営フォーラムについて

(決定事項)

10月6日(木)シーハットおおむらで開催

(今回提案事項)

- ・開催要項案、懇親会会場、分科会数、記念講演者

(上谷大村支部長より)

今回大村支部が主幹となり経営フォーラムを開催することとなりました、皆さんご協力宜しくお願いいたします

(大塚経営フォーラム実行委員長より)

今、大村支部で経営フォーラムの準備を進めています。県央の諫早支部・島原支部にもご協力をいただけるようお願いいたします。実行委員会にもタイミングをみて参加をお願いします。ただ、負担がかからないような形での組織等を考えています。今回は、懇親交流会の会場をパークベルズ大村、分科会数を4分科会、記念講演者を法政大学 教授 坂本光司氏とすることを提案します。坂本光司氏においては全国の中小企業や商店街等を7000ヶ所以上訪問調査しており、その経験をもとに素晴らしい講演をされていると聞いております

(総じて)

- ・開催要項案
- ・懇親会会場－パークベルズ大村
- ・分科会数－4分科会
- ・記念講演者－法政大学 教授 坂本 光司 氏
→懇親会会場、分科会数、記念講演者を承認

報告・連絡事項

1)3月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)－尾崎例会委員長

年間を通しての出席率が全体で37%となっており2014年度の40%からすると低くなっています。また、新しく入会した方が例会に参加してもフォローがされておらず、そのまま会活動から遠のき退会ということも見受けられるので、声かけ等の退会防止をお願いします

(2016年度例会委員長予定 山口会員より)

来期は例会委員会の回数を増やします。事前にメールでのお願いをしましたが、可能ならば例会が重複している日の移動をお願いします。また2017年度は各支部の例会日が重ならないように配慮をお願いします。また、出席率が非常に落ち込んでいます。各支部に絶対達成できる目標を出していただきましたので、目標達成を宜しくお願いします

3)中同協 主要行事の紹介

4)3月10日(木)長崎県人材育成産学官コンソーシアム参加報告

(峰事務局次長)

→成果として「Nナビ」という就職支援サイトが立ち上がっています。無料ですのでご興味ある方はご登録下さい。また、長崎大学が中心となり人材育成塾を企画しているとのこと。新しい情報が入りましたら随時報告します

5)3月11日(金)女性部会・障がい者問題担当委員会第4回例会報告(中村委員長)

多くの会員に参加いただきありがとうございました。オブザーバーとして労働局や特別支援学校等の方にも参加をいただき、グループディスカッションも盛り上がりました。オブザーバーからは、企業の方が障がい者雇用に関して語っていただけるのは非常にありがたいとお聞きしました。

6)3月18日(金)九州・沖縄ブロック事務局長会議参加報告

(峰事務局次長)

※5月26・27日の九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会において、「企業づくり」の報告者として、長崎より池野支部長を推薦していましたが、事情により宮田政策委員長へ変更提案近日中にe.doyuにて案内を配信します

- 7) 3月22日(火)春闘共闘会議との意見交換会参加報告
(松尾代表理事)
各分野の労働組合の役員の方と話し合いをしました。労使がともに協力し、安心して生活できる環境づくりをしようということや、少子化や労働力確保についても話が及びました。今後も意見交換会を継続し、共に成長し助け合うということを話していきたいです
- 8) 3月24日(木)中同協政策委員会参加報告
(峰事務局次長)
税制に関する報告で、大企業偏重といえる税制を中小企業にも目を向けてもらうべく声をあげようということがありました。同友会としても、もっと税制の勉強をし、どういった税制であるべきかということを考えていかなければならないという確認されました。また6月のキックオフ集会では、地元選出の国会議員には、各地同友会でお声がけをすることが確認されました
- 9) 3月24日(木)長崎県生涯活躍のまちCCRCシンポジウム参加報告
(田口事務局員)
日本版CCRCとして「生涯活躍のまち」構想が地方創生の観点から注目を集めています。東京圏に住む高齢者を地方への移住を促し、地方活性化につなげるという取り組みです。詳細に関しては広報誌にて報告します
- 10) 3月26日(土)第3回新入社員フォローアップセミナー開催報告
(土井委員長)
18名の参加者が自社の概要と自分どういった仕事をしているのかということプレゼンしていただきました。非常に素晴らしいプレゼンで、参加者同士での気付きもあったようで、アンケートを見ても良い反応があり、開催して良かったと感じています。最後には23名に修了証をお渡ししました。回を重ねるごとに良いものになってきていると実感を持つことができました
- 11) 4月1日(金)2016年度合同入社式開催報告
(土井委員長)
松尾代表理事からの挨拶、佐世保支部 村山会員からの基調講演、長崎支部浦上地区会 大城会員によるワークを行いました。9社22名に参加いただき、感想を見ると「自分ができていると思えることができていなかった」「自分ができていないことが、他の人にはできていた」など、お互いに気付きがあり相乗効果につながったようです。また、同期・仲間がいるという強みは非常に大きいと感じました。新卒採用が難しい状況ですので、新人を大事に育てる場を持つ同友会が大きな役割を果たしていると再確認しました

- 12) 長崎新聞社、例会参加の件(進捗報告)
(峰事務局次長)
4月は人事異動もあるため、5月以降に連絡をします
- 13) 第1回九州・沖縄青年部合同例会開催について
(山口青経会長)
九州・沖縄ブロックで一昨年より集まり、活動してきましたが来年九州で例会を開催することが決定しました。主旨として若手経営者が全国大会に参加をする時間が取れないため、日帰りできる全国大会をとということで話をすすめてきました
(峰事務局次長)
ブロックおよび複数同友会の合同行事の開催に関する申し合わせに関しては資料を確認下さい。また全国大会が増え、多様化していますので今後の行事の在り方に関しては今後協議を進めていきます

14) 事務局複合機納品報告

15) 会費3ヶ月滞納者について-該当者なし

留意事項

- 1) 2017年 中同協役員研修会について-5月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する
→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)
- 2) 2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウエスタン…立食1000名、椅子900名、
分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)
※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ-金井副代表理事

私たち同友会も新年度を迎えますが、今月の理事会は元気がないように感じました。トップに元気がないと組織も元気になりません。理事会でも元気な雰囲気を出していただきたいです。本日はお疲れさまでした。

次回日程-5月理事会 5月6日(金) つくば倶楽部予定 19:00~

会員消息

会 員 数 (3月31日現在)

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	55	30	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	45	23	550
期末	201	112	89	68	73	56	122	44	25	589

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部・地区会名	入会年月
岩永 俊幸	岩永木材(有)	長崎・出島	1999年 8月
小西 勇司	(株)小西不動産	長崎・出島	2014年11月
松野 健助	(株)オービス	大 村	2005年 1月
平野 泰斗	(有)クリーン工業	諫 早	1999年 1月
原 耕三	原住宅総合企画	佐 世 保	2012年10月復会
鴨川 智美	ビューティーサロン START	北 松 浦	2014年 8月
樹屋 可恵	樹屋可恵行政書士事務所	北 松 浦	2009年 2月
柿森 誠	九州商船(株)奈留島港代理店	五 島	2014年 6月

●企業住所等変更

鹿島 啓介 会員

(長崎浦上支部)
新役職名:専務取締役

石橋 陽子 会員

(大村支部)
※旧姓:藤本 陽子 会員
ご結婚により姓が変わられました
新会社名:ponpurse(ポンパーージュ)
新住所:〒856-0829
大村市松山町 491-4
新TEL番号:080-8363-1105
新業種名:美容業

庄司 博昭 会員

(長崎出島支部)
新会社名:マジョラム
新住所:〒850-0909
長崎市梅香崎 2-9-1303
新TEL番号:095-821-0889
新FAX番号:095-821-0889
新業種名:流通業(食糧品、生活用品 卸販売)

富永 栄一郎 会員

(大村支部)
新住所:〒856-0806
大村市富の原1丁目 1545-1

小坂 元一 会員

(長崎浦上支部)
新住所:〒851-3212
長崎市長浦町 20
新TEL番号:095-886-3880
新業種名:農水加工卸

山口 佳彦 会員

(大村支部)
新住所:〒856-0806
大村市富の原1丁目 1545-1